

冬本番を前に、室内環境についてアンケート 働くママの大敵は「ウイルス・菌」 掃除や除菌をしても、7割が不満！

働くママと園児の情報誌「ぎゅって」を発行する株式会社サンケイリビング新聞社（東京都千代田区）は、電気機器を展開するマクセル株式会社（東京都港区）とともに、「冬の室内環境」に関する女性意識や実態を調査しました。

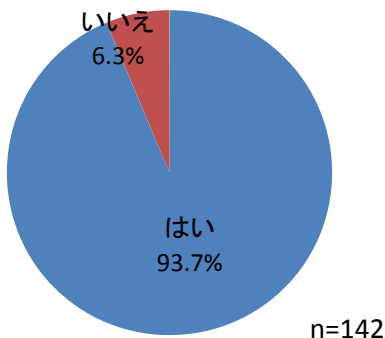
- 調査期間：2017年10月2日～10日
- 調査方法：Webアンケート
- 集計数：142人（女性有職者に限定し集計。個別設問では不明・非該当を除いて集計）
- 平均年齢：34.88歳

冬の室内環境で一番気になる場所は「リビング」の「ウイルス・菌」

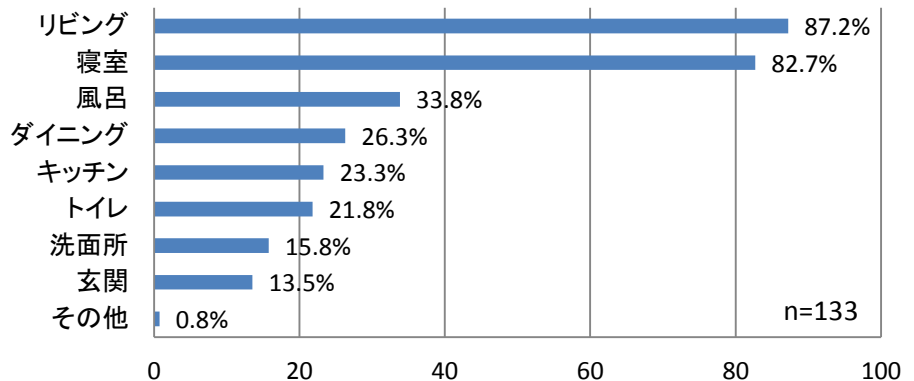
冬の室内環境が「気になる」人は93.7%。そのうちの約9割が、一番気になる場所として「リビング」と答えました。2位は「寝室」であることから、多くの時間を過ごす場所が不安のようです。

冬の部屋で気になるものの1位は「ウイルス・菌」（87.2%）。「冬に流行る病気が心配」という意見が多く、特に、保育園や職場から誰かが菌を持ち帰り、家族が次々に体調を崩すのが恐怖。家事に、仕事に手一杯の中、家族の看病も加わる…ママの負担大です。

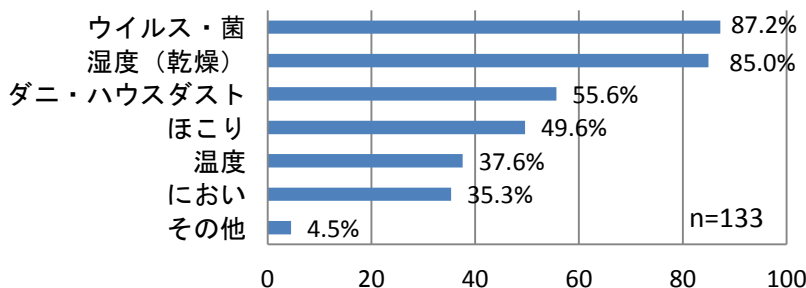
冬の部屋の室内環境が
気になることがありますか？



冬の部屋で、室内環境が気になるのはどこですか？（複数回答）



冬の室内環境で気になるものをすべて選んでください
（複数回答）



ウイルス・菌、ここが不安… （フリーアンサーから）

子どもは保育園で、パパ&ママは通勤電車でウイルスをもらわないか気になる（37歳）

子どもが保育園や外から帰って来て、手を洗う前に色々タタタと触っている（34歳）

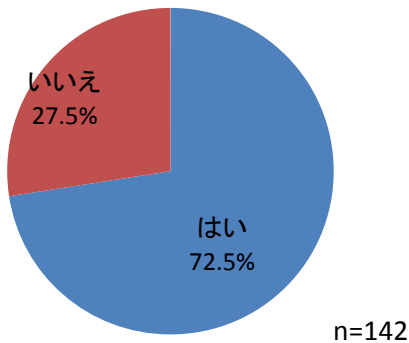
寒くて換気が不十分。菌やウイルスを外に出し切れていないと不安（35歳）

部屋を清潔に保ちたいけど...

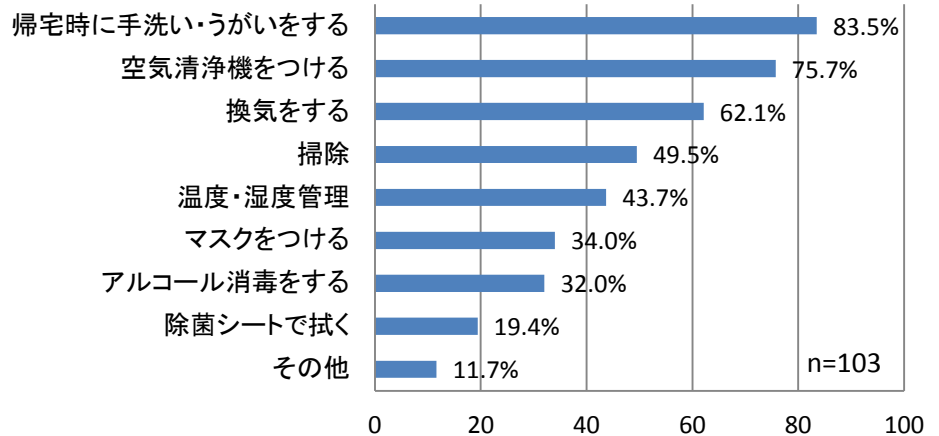
「目に見えないから効果がわからない」「徹底的に掃除する時間がない」

部屋の菌・ウイルスに対して何らかの対応をしている人は約7割。1位は「手洗い・うがい」と基本中の基本。続く「空気清浄機をつける」「換気」も半数以上。しかし、約7割の人がその対応について満足していません。その理由の多くが「効果が見えず、どれだけやっても満足できない」。また、「掃除をする時間がない」と、忙しさも悩みの種ようです。

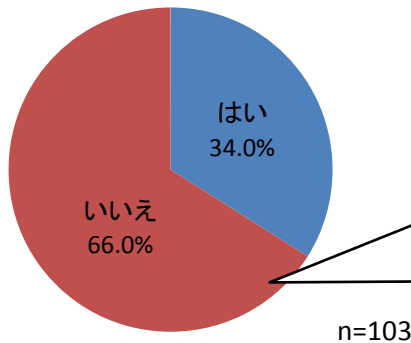
お部屋を清潔に保つため
「菌・ウイルス」に対して
何か対応をしていますか？



「はい」と答えた人
どんなことをしていますか？(複数回答)



「はい」と答えた人
したことに対して満足していますか？



やっではいるけど、ここが不満！
(フリーアンサーから)

菌やウイルスは目に見えないので、万全かわからずど
れだけやっても満足できない(30歳)

もう少しマメに掃除をすれば軽減すると思うのですが、
時間がありません(34歳)

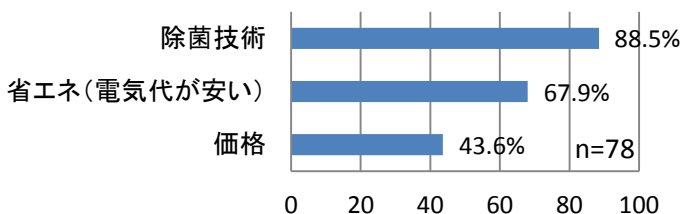
やはり病気になってしまうので、いまいち徹底できてな
いのだと思う(29歳)

空気清浄機に求めるのは「除菌技術」

「空気清浄機」を使う人に、機器について重視することを聞いたところ、約9割が「除菌技術」という結果に。「菌・ウイルス」への不安がここにも現れています。

この冬、目に見えないウイルス・菌に手軽に、かつ効果的なグッズや方法に、ワーママの注目が集まりそうです。

空気清浄機で重視することは？



マクセルの除菌消臭器
「オゾネオプラス」に注目

自然界にも存在する気体で、強い酸化力が特長の「オゾン」を発生させ、空気中のウイルスや雑菌を分解してくれます。コンパクトなのに最大16畳まで対応していてパワフル。フィルターレスなのでお手入れも簡単です。毎日24時間稼動しても、電気代は月額49円なのもうれしいところ。この冬、ママの強い味方になってくれそう。商品の詳細は「あんふあんWeb」で。



http://r.living.jp/enfant/1711maxell_ozoneo

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社サンケイリビング新聞社 あんふあん事業部 担当: 中富

TEL: 03-5216-9181 (受付時間 平日9:30~17:30) E-mail: nktmmotk@sankeiliving.co.jp